

茅ヶ崎セントラルクリニック 成田 朋子(看護主任/看護師)

- 功 績 健育会の人材育成方針を理解し、率先して自らが動くことで職場環境を改善した功績
- 推 薦 者 細川 康子(看護部長/看護部)
- 推 薦 理 由 慣習を打破しようと率先して組織の改革に取り組み、改善した結果はプロとして質の向上を体現した事例と考え、理事長賞に推薦いたします。

内 容

成田は入職して20年目の看護主任です。運営母体が変わる同時に業務効率化の推進や患者さんへのサービス向上に向けて率先して取り組んできてくれました。

高齢化している患者さんにクリニックとしてどう対応すべきかを考え、介護事業者と勉強会を開催する等連携を強化しました。次に連携する在宅看護を理解し、自身の能力と知識を向上させるため、訪問看護養成講座も受講しました。使命感を持ち、「頑張る人を応援する」健育会の教育方針をよく理解し、人事考課制度もいち早く理解してくれました。

しかし、改善・向上とは無縁だった組織の慣習を変えるのも容易でなく、反発もあり、挫けそうになる時もありましたが、「人生を支援する」という理念を念頭に、粘り強く頑張ってきてくれました。

対話を重視し、反対意見の職員へは「将来どうなりたいか、どうしたいのか考えて、頑張ってみよう」と声がけや相談に乗っている姿を頻繁に見ました。

その姿を見た他職員にも徐々に波及し、中々踏み出せなかった職員が一步ずつ踏み出し始め、他機関での実習、競合機関へのヒヤリング実施するなど波及効果を生みました。

結果、職場環境調査で全項目数値が改善されましたが、特に改善したかった2項目。「学習や成長の機会」(3.75→4.11)と「適正な評価」(3.64→4.09)が大幅に改善され、努力してきた成果が結果となって表れました。

意識改革の次は、学研オンデマンドを活用し、目的を持った教育体制の仕組みづくりに奮闘してくれております。